

事例Ⅰ 分解ショートケース演習②

A社は、1970年代に現社長が創業し、首都圏で18店の美容院を経営している。資本金は3,000万円、売上高は6億2千万円である。従業員数は97名で、その多くが美容師、または美容師の見習いである。

社長はいくつかの店で腕を磨いた後に、A社の礎となるX店を都内にオープンした。当時、映画をきっかけにして大流行したヘアスタイルをいち早く取り入れたことで、雑誌やテレビなどマスメディアで紹介される機会も多くなった。その影響もあり、社長の美容師としての知名度は高まり、順調に顧客を増やすことができた。店は連日満席で、売上を伸ばすため2号店、3号店と店舗を増やした。都心部を中心に数店を構えるようになったが、この時期の多店舗展開がA社の経営基盤を固めることとなった。

問題

A社の事業の特質を踏まえ、A社が多店舗展開を推進してきた理由を80字以内で述べよ。